

平成 28 年度
バリアフリー・ユニバーサルデザイン
推進功労者表彰

受賞事例集



平成28年度

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施いたしました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子供連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。

関係府省庁、都道府県、政令指定都市を通じて推薦のあった33件の事例のうち、今年度は、内閣総理大臣表彰2件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞及び奨励賞各2件が選考され、表彰式において、加藤内閣府特命担当大臣からそれぞれ表彰状を授与されました。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集を活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「国民一人一人が自立しつつ互いに支え合う共生社会の実現」を目指した心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。



平成28年度（2016年度）

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式

開催日：平成28年（2016年）12月20日（火）

開催場所：中央合同庁舎第8号館講堂

平成29年2月
内閣府

講

評



平成28年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

平成28年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰には全国から「施設整備」11件、「製品開発」5件、「活動等」17件、計33件の応募がありました。いずれも優れたものばかりで、ご推薦いただいた関係省庁、各都道府県・政令指定都市の皆さまに深くお礼申し上げます。第1次審査では各推薦団体から提出された応募書類により各選考委員が書面上で予備審査を行いました。その結果を基に選考委員会で慎重に協議し、計10件の現地調査候補を選考しました。現地調査では各推薦団体から提出されていた応募書類の事実確認、施設や製品、活動の現状確認、追加ヒアリング等を行いました。最終選考委員会では各委員からの現地調査報告を基に厳正な審議を経て下記6件を今年度の表彰団体として決定しました。

内閣総理大臣表彰を受賞された株式会社ジェイ・ティー・アールは、我が国で唯一35年に渡り、点字プリンターの開発から販売まで行ってきた企業であり、現在では自宅でも使用できる普及型の点字プリンターやアジア諸国の点字の普及発展のための事業を展開、これらの長年の功績が極めて高く評価されました。同じく内閣総理大臣表彰を受賞された株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社メディア・ユニバーサルデザインプロジェクトチームは、当該新聞、放送のグループ全体ですべての人がアクセスしやすい紙面、テレビ画面の開発に尽力し、カラー・ユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォント等を導入、全社員の意識改革にも繋げたことが極めて高く評価されました。

内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞された有限会社さいとう工房は、多機能選択型電動車椅子等を開発、車椅子使用者の日常生活を大きく向上させた点、同じく優良賞を受賞されたなにわ一水は、高齢者から重い障害者までの誰もが利用できる宿泊施設の設備、情報、送迎等の継続的な改善について、いずれも長年の取り組みが高く評価されました。また、内閣府特命担当大臣表彰奨励賞を受賞されたヤマハ株式会社新規事業開発部Sound UDグループは、あらゆる公共機関に活用可能な音のユニバーサルデザインであるおもてなしガイドを開発し、国内外で採用が進展している点、同じく奨励賞を受賞された座間キャラバン隊は、知的障害を持つきょうだいの問いかけから、障害のある児童の理解を進める公演活動を全国各地で300回近く開催している点などが高く評価されました。

以上、受賞された各団体のバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進事業は、私たちの共生社会をより豊かに発展させていくものと確信します。これらの受賞事例は、今後国内ばかりでなく海外へもさらに広く発信されていくことが期待されます。最後になりますが、沢山の応募団体をご推薦して頂きました、都道府県・政令指定都市をはじめ全国各地の関係諸機関に改めて深く感謝申し上げます。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

推進功労者表彰選考委員会

委員長 高橋 儀平



目 次

内閣総理大臣 表彰（2団体）

株式会社ジェイ・ティー・アール 1

株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社
メディア・ユニバーサルデザインプロジェクトチーム 3

内閣府特命担当大臣表彰 優良賞（2団体）

有限会社さいとう工房 6

なにわー水 8

内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞（2団体）

ヤマハ株式会社新規事業開発部SoundUDグループ 10

座間キャラバン隊 13

過去の受賞者一覧 15

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領 22

選考委員会委員名簿 23

内閣総理大臣
表彰

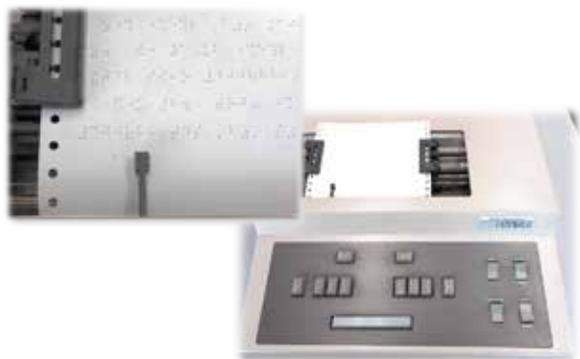
厚生労働省推薦

株式会社ジェイ・ティー・アール

(埼玉県戸田市)

【概要】

- 我が国で唯一35年に渡り、点字プリンターの開発、製造から販売まで行っている企業であり、日本国内はもとよりアジア諸国に至る視覚障害者の大切な文字である点字の普及発展のために意欲的に事業を展開している。
- 全国の点字図書館、視覚障害者情報提供施設、社会福祉協議会等から発行される点字図書を製作する点字プリンタ・プロッタを開発、点字を通じ、視覚障害者が健常者と同等に文字情報を入手することができるよう、また、視覚障害者が健常者と同等の読書環境の整備と情報収集を行いやすい環境整備に力を注いでいる。
- 量産及び企業努力により、個人でも購入しやすい価格としたため、自宅で点字プリンターを使用することを実現させ、視覚障害者の自立支援や社会参加及び就学に貢献している。
- 点字印刷のみならずグラフィックも表現できる点図印刷機能も備えたプリンターを製品化している。



日本初の点字データターミナルESA731
(点字プリンター)



精密グラフィック対応両面同時プリンター



星形図形の原画像



点図化



点図の星形図形

【 特に顕著な功績・功労 】

- 全国の点字図書館、視覚障害者情報提供施設、社会福祉協議会等から発行される点字図書を製作するため、静音性に優れ、印刷速度が速い点字プリンタ・プロッタの開発生産し、視覚障害者のQOL向上に多大な貢献をしている。
- 中途失明者が点字を覚えるため、通常よりもドットと一文字が大きい点字（L点字）の開発要望を受け、新しい機種を開発。これにより、点字習得を諦めていた中途失明者が手軽に点字を活用できるようになり、大きな貢献をした。
- 地域の小学校の総合学習の点字学習や社会科実習を積極的に受け入れ、地域の子供達の育成や点字を啓蒙する活動に貢献している。
- グラフィック表現点図印刷機能により、アニメーションの主人公を点図で表現し、視覚障害を持つ子供が、健常な子供と同じテーブルで同じ本を同じように読み、同じように笑うことができるようにし、視覚障害を持つ子供に大きな喜びを与えている。
- 点訳ボランティア養成の一環として、点字プリンターを動作させる上において必要不可欠な点訳ソフトの無料操作方法の講習会を開催し、より多くの人々に視覚障害者のためのボランティアとして活動してもらうための活動を行っている。
- 製品から出力された点字の点の丸みは、海外からも高い評価を受けており、読みやすい点字の海外視覚障害者への普及を図り、日本のみならず海外においても視覚障害者のQOL向上に貢献している。



点字作成絵画（幼児用）

内閣総理大臣
表彰

静岡県推薦

株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社 メディア・ユニバーサル デザインプロジェクトチーム

(静岡県静岡市)

【概要】

- 静岡県におけるマスメディアの中核を担っている企業である。社員がカラーユニバーサルデザインの研修に参加し、従来から行っていた情報発信が、色覚障害者の特性等を理解しておらず、一部の人には伝わりにくいものになっている可能性が高いことに気づき、メディア展開におけるユニバーサルデザインを進めることとした。
- ユニバーサルデザインの導入に当たっては、NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン(MUD)協会の監修等を受けながら、色覚障害者だけでなく、国内初の取組として、白内障等で見えにくさを感じている高齢者も視野に入れた配慮を行った。また、新聞、放送共同でプロジェクトチームを発足させ、グループ全体で使用するMUDガイドブックを作成したほか、社内にMUD教育検定の資格取得者を配置し、常時メディアとしての適正な表現についてチェックが行えるようにしている。グループ会社を含めたガイドブック活用の研修も実施している。また、新聞紙面に新聞UDフォントを導入し、高齢者にも読みやすい新聞紙面の取組も進めている。
- 平成28年3月、静岡県立静岡文化芸術大学デザイン学科の小浜朋子准教授(工学博士)とメディア・ユニバーサル・デザイン協会による「後期高齢者参加型高齢社会のQOL向上に向けた調査」を実施し、新聞UDフォントを導入した静岡新聞のテレビラジオ欄は、調査対象主要5紙と比較し一番読みやすいという評価を得た。また、静岡新聞はより明るい光源下、より暗い光源下の両条件においても他紙よりも読みやすいという結果が確認された。



【特に顕著な功績・功労】

- 色覚障害者は男性の20名に1人の割合で存在、白内障等で色の識別が困難になっている高齢者は色覚障害者の10倍は存在するとも言われている中、高齢者と色覚障害者が共通して理解できる配色は一般的にはまだ知られておらず、従来発信している方法では、色覚障害者や高齢者に情報が伝わらないという問題意識から、全ての人に優しい情報発信を可能にするため、メディア側による色覚障害者や高齢者等の色認識の特性を理解することが必要と考え、静岡新聞社・静岡放送の主要組織からスタッフを集めて



MUDガイドブック「制作視点」

- 「メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）プロジェクトチーム」を編成し、「MUDガイドブック「制作視点」～色覚タイプの異なる人と高齢者に優しいメディアを目指して～」をNPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会の監修（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会から得た色相環をベースにした色覚障害者と高齢者が共通して理解できる独自のノウハウをガイドブックに導入）により制作した。
- 使用可能な色と不可である色等のカラーユニバーサルデザインに関する項目をリストアップし、新聞読者やテレビ視聴者に理解しやすい配色を行うなどのカラーユニバーサルデザイン対応を実施した。



テレビ カラー調整室風景



実践例（上が改善前、下が改善後）

- 色以外で工夫（凡例を使用しない）（テレビ）

➤ 新聞紙面に「新聞UDフォント」を導入し、多くの人がより見やすい紙面作成を行った。(静岡新聞、伊豆新聞及びハワイ報知(アメリカ合衆国ハワイ州)(伊豆新聞・ハワイ報知は、静岡新聞グループ会社))

➤ 新聞・放送で問題があった可能性のある記事やフリップ等を過去10年間に遡りリストアップし、その改善例を具体的に記載することでメディア・ユニバーサルデザインに配慮する側にも理解しやすく、実践に移しやすいガイドブックになるよう制作面でも工夫した。

➤ ユニバーサルデザイン導入後、新聞・放送両現場において、色弱者、高齢者への表現に対する意識が変わり、「全ての人にわかる」「誰にもわかる」ということはメディアの役割という理解が進むとともに、それに基づいた具体的取組が実施されており、徐々に他メディアにも広がりつつある。それ程遠くない将来、全てのメディアでユニバーサルデザイン化が進むことが期待される。



線や形で工夫(新聞)

内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞

東京都推薦

有限会社さいとう工房

(東京都墨田区)

【概要】

- 誰もが入手しやすい市販機で、オーダーメイドに近い多機能電動車椅子を作ることを目指し、6年の歳月をかけて多機能選択型電動車椅子「レル・シリーズ」を開発した。
- 「レル・シリーズ」は、まだ日本で普及していない* 6輪型を採用し、直径96cmでの小さな旋回や大幅な軽量化を実現し、屋内外での傾斜がある場所においても同社開発の独自機構（平成25年4月特許取得）により、安心・安全を利用者に提供する段差越え機能を備える。また、座面の奥行、幅、高さ、座角を機械操作で簡単に調整できるようにし、寝ることを可能にしたティルト・リクライニング機能、食事や洗面時に必要な適度な姿勢をつくりだす座角変換機能等も備えている。

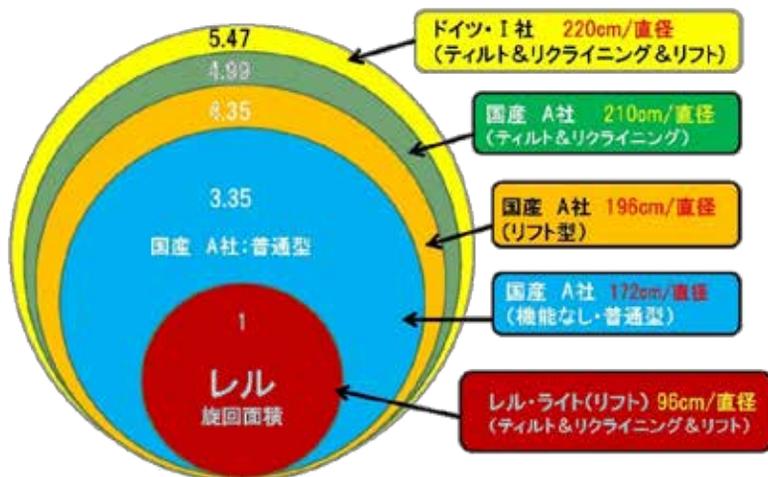
* 補装具費の支給制度を利用する際の額の算定基準に関係するJISの規格において、電動車椅子が「前2輪、後2輪の四輪で構成したもの」と定義されていることが原因の1つであると考えられる。社長は、JIS開発委員会及びその分科会の委員の一人として、平成28年度末までの改正JIS原案の作成にも尽力。



レル・シリーズ



6輪構造・旋回面積の比較



【特に顕著な功績・功労】

- 「レル・シリーズ」は、既存の大型となる多機能電動車椅子と比べ、非常にコンパクトに作動し、また、日本の住環境や生活様式から考えられた様々な機能を備えており、利用者に配慮した電動車椅子となっている。また、利用者の活動範囲が広がっただけでなく、就労にもつながったなど、障害者の社会参加にも貢献している。
- 販売台数を増やせなくても、ユーザーの体や障害の特性に合わせて微調整・フィッティングを繰り返しながら作製している。
- 日本で不要になった電動車椅子を発展途上国へ提供するとともに、現地での技術指導や、海外からの研修生の受け入れを行う事業（NPO「さくら・車いすプロジェクト」）を立ち上げるなど、海外での多機能電動車椅子普及にも貢献している。



さくら・車いすプロジェクト

- 障害者・高齢者と健常者の境のないユニバーサルデザインの実現に向けて取組を強く推進しており、その姿勢は特筆に価する。同社は、電動車で障害者・高齢者が、自分らしく自立した生活を送ってもらうためのきっかけになればとの思いを込めて製作・開発などに当たっており、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした就労支援型電動車椅子の開発を目指している。

内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞

島根県推薦

なにわー水

(島根県松江市)

【概要】

- 障害のある人や高齢者が家族と一緒に旅行に出かけ、家族全員で旅行の楽しみを共有できる環境づくりが必要と考え、ユニバーサルツーリズムと福祉介護が共存し、すべての人に非日常を楽しんでもらえる旅館を目指し、施設改修やサービスの充実に取り組んでいる。施設の概要：5階建、客室全25室
- 障害者のサポート方法や施設整備について、障害者の社会参画支援を行っているNPO法人プロジェクトゆうあい（バリアフリーマップの製作、宿泊施設へのバリアフリー研修等の実施について、平成20年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者内閣府特命担当大臣表彰（奨励賞）を受賞）から意見を得ながら施設及び心のバリアフリー化を進めている。

【特に顕著な功績・功労】

1. 社員がサービス介助士等の資格を自発的に取得しスキルアップできる社内環境を作っている。
2. 利用者アンケートの内容を社員全員が共有し、社員一人ひとりが利用者のサポート方法を考え、より利用者の意に沿った対応に取り組んでいる。
3. 車椅子利用者を中心としたものが多いが、視覚障害者や聴覚障害者への配慮もあり、その配慮方法に工夫がみられる。

筆談ボードの配置

専用PHSの配置（呼び出し、緊急連絡用）

音声情報機器の配置



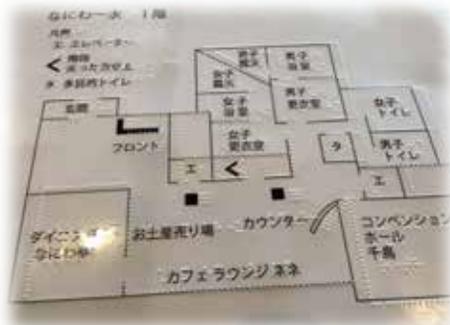
館内案内ラジオ

点字ボードの配置、配布

障害のあるお客に対応した「避難マニュアル」の作成、避難訓練の実施



筆談ボード



館内案内用展示ボード

障害者、高齢者やアレルギー体質者に配慮した食事の提供

車椅子利用者の利便性を考慮した設計（トイレ、洗面所、風呂場、廊下）

送迎用にリフト付きバスを導入



バリアフリー仕様トイレ
（客室）



シャワーブース（客室）



リフト付きバス

4. 「あいサポート」運動の精神をよく理解し積極的に利用し、従業員の研修を積極的に推奨している。旅館業は一般に設備等のハード面の改良によってバリアフリーを強調することが多いが、コミュニケーション等のソフト面をよく研究されており、情報バリアフリーを積極的に取り入れている。



全職員対象のあいサポート研修

5. 高齢の従業員への配慮も工夫しており、働きやすい環境を整備している。

以上のように、宿泊施設のバリアフリー・ユニバーサルデザイン対策としては突出しており、他の模範として多くの宿泊施設の目指すものと考えられるとともに、今後の事業展開に大いに期待できる。

内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞

総務省・京都府
推薦

ヤマハ株式会社新規事業開発部 SoundUDグループ

(東京都港区)

【概要】

- 交通機関、商業施設、公共施設で流れるアナウンスや観光地のガイドンス、非常放送、災害放送等、街中では様々な音声情報が流れているが、聴覚障害者や音が聞き取りづらい高齢者、日本語アナウンス等がわからない外国人は、内容を理解できず不自由を強いられることが多い。
- 開発した「おもてなしガイド」は、世界初の「音のユニバーサルデザイン化」をコンセプトとして、ヤマハの音響通信技術と国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の高精度音声認識技術を活用して実現したシステムであり、インターネット回線を必要とせず、既存の放送設備も活用でき、災害に強いことも特徴である。
- この「おもてなしガイド」は、日本語アナウンスの内容が、ユーザー各自のわかる言語文字として、瞬時に各々のスマホ等に表示することができるもので、特に、訪日外国人には通訳者を、聴覚障害者には手話通訳を介することなくアナウンス等の内容を伝えることができ、バリアフリー化に極めて有用なものである。



【特に顕著な功績・功労】

- 「大坂の陣400年天下一祭冬の陣」、「ミラノ万博日本館」等、国内外でのイベントでの公式採用のほか、国内の主要空港・交通事業者・商業施設・観光地等、既に全国34社でも「おもてなしガイド」を用いた展開が進んでいる。また、平成28年5月には、京都府・京都市で初の地域連携プロジェクトを立ち上げ、音のユニバーサルデザイン、バリアフリーのインフラ化に向けて、点から面での展開がなされている。

➤ 「おもてなしガイド」は、どこの施設にもある一般的なスピーカーや映像ディスプレイから送信でき、ユーザーはスマートフォンやタブレットに表示できるもので、特殊な送受信機材を必要とせず、また、インターネット環境のない場所や災害時でも使用できることから、特に訪日外国人や聴覚障害者等に対するバリアフリー化が顕著で、多大な功績がある。

confidential

「おもてなしガイド」を導入すると・・・

スピーカーから流れている音声を数秒程度、スマホに聞かせると、ユーザー各自のわかる言語になって、内容が表示されます。既存の放送設備も利用できるので、導入しやすいのが特長です。



例えば、バスでは・・・

アナウンスモードに！



例えば、ショーでは・・・

ガイダンスモードに！



(c) 2015-2016 Business Development Division, Yamaha Corporation

5

肉声アナウンス時の基本システムイメージ

confidential

①いつものマイクで日本語のアナウンス



Ex. 「日本へようこそ！」

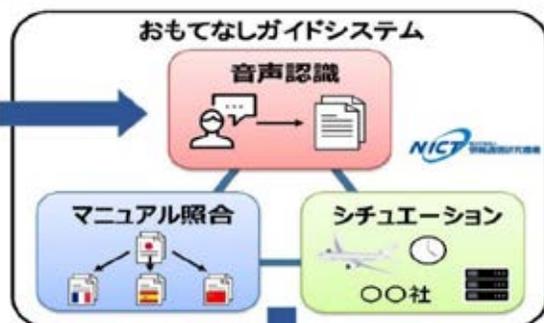
②システムで実用レベルの文章、外国語を用意

③外国語アナウンスを自動付与して放送

※ 「日本へようこそ！ Welcome to Japan!」 と放送される

④さらに様々な言語でスマホに表示！

※ 端末ごとに 「日本へようこそ」 「Welcome to Japan」 「欢迎来到日本」 「歡迎來到日本」 「일손에 오신것을 환영합니다」 など



(c) 2015-2016 Business Development Division, Yamaha Corporation

10

内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞

神奈川県推薦

座間キャラバン隊

(神奈川県座間市)

【概要】

- ダウン症の妹を持つ小学校6年生の男児が、自閉症の児童の不思議な行動を馬鹿にする同級生に対して、自閉症についてどう説明したら良いのかと母親に問いかけてきたことを受け、その母親が学校の先生に相談し、障害のある児童について説明する時間を持つこととなった。その際、仲間たちへ持ち掛け、アイデアを出し合い、台本、カード、グッズ等を作り、地域の小学校で障害のある児童を理解するための公演をしたことがきっかけとなり、平成13年に「座間市手をつなぐ育成会地域啓発キャラバン隊」を結成した。
- 平成14年に公演活動が全国的に知れ渡り、冊子・ビデオの作成、ビデオレンタル等で活動内容を広範囲に広め、平成20年には、座間市手をつなぐ育成会から独立した。平成15年以降、現在まで300回近い公演を行い2万人以上が公演活動を観賞しているほか、雑誌、テレビ、ラジオにも多数取り上げられ、自閉症支援実践賞「いとしご賞」等の賞を受賞するなどにより、類似の活動の全国へ広がり、障害児童への理解促進において多大な功績がある。



本とDVD

【特に顕著な功績・功労】

公演を観賞した児童等に、

- 障害児童の困り感に気付く。
- 障害児童の気持ちを理解し、想像して、されたら嫌な行動を考えるようになる。
- 障害児童と接したいという気持ちを持つようになる。
- 障害児童の頑張りにも気付くようになる。

- 障害児に限らず、支援を必要とする子との距離感が縮まる。
- 支援学級へ遊びに行く児童が増え、偏見について考えるようになる。
- お互いの子供の障害への理解が深まった。
- 様々な障害のある人に対する心の目が変わった。
- 障害者へどう対応すればいいかということに興味を持つようになった。
- 相互理解の必要性を感じるようになった。

などの変化が芽生え、障害児への理解の輪が広がった。



公演風景



バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

～過去の受賞者一覧～

	第1回受賞 平成14年度 (2002年度)	第2回受賞 平成15年度 (2003年度)	第3回受賞 平成16年度 (2004年度)
内閣総理大臣表彰	新井リゾート開発株式会社	京成ホテル株式会社	湖南省
	下田タウン株式会社		南砺市
内閣官房 長官表彰 (第3回までは、 内閣官房 長官表彰 となる。)	Accessible盛岡	伊勢佐木町1・2丁目 地区商店街振興組合	荒 由利子
	伊丹市	岐阜経済大学まちなか 共同研究室マイスター 倶楽部	伊予鉄道株式会社
	財団法人共用品推進機構	訓子府町	株式会社 イトーヨーカ堂
	株式会社京急 ファインテック	医療法人圭佑会 澤歯科医院	株式会社 オリエンタルランド
	財団法人 すこやか食生活協会	伊勢原・誰もが住みよ い街づくり懇話会	高齢者住宅環境整備 ボランティア会
	NPO デイヘルプ	NPO 日本サスティナブル・ コミュニティ・セン ター	仙台シニアネットクラブ
	NPO 福祉のまちづくり 市民ネットワーク	肥後タクシー有限会社	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備 支援機構、 九州旅客鉄道株式会社
	バリアフリーデザイン 研究所	広島電鉄株式会社	
	むくどりホーム・ ふれあいの会	福岡県田川郡 大任町立大任小学校	トヨタ自動車株式会社
		村山 輝子	
	有限会社料亭こもだ		

- 1 「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」は、第6回までの間、「バリアフリー化推進功労者表彰」として実施
- 2 「受賞者」の名称は当時のままの名称で記載している
- 3 NPOとは、特定非営利活動法人(NPO法人)の略。

	第4回受賞 平成17年度 (2005年度)	第5回受賞 平成18年度 (2006年度)
内閣総理 大臣表彰	東陶機器株式会社	コクヨ株式会社
	NPO 大阪障害者雇用 支援ネットワーク	
内閣府 特命担当 大臣表彰	大牟田住まい・まちづくり ネットワーク	ケア付き青森ねぶた 「じょっぱり隊」
	奥野 花代子	京王電鉄株式会社
	東京急行電鉄株式会社	公立豊岡病院組合
	福岡市交通局	NPO シーエス障害者 放送統一機構
	有限会社雅樹雅	とっておきの音楽祭 実行委員会 SENDAI
	有限会社ハートフル・ウィング	富山ライトレール株式会社
		平田観光株式会社
		THE MAGICAL TOY BOX

	第6回受賞 平成19年度 (2007年度)	第7回受賞 平成20年度 (2008年度)
内閣総理大臣表彰	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	品川区立戸越台中学校
	中部国際空港株式会社	富士ゼロックス株式会社
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	岡山県立興陽高等学校	イオン九州株式会社 イオン鹿児島ショッピングセンター
	花王株式会社	泉北若松台A B住宅 団地管理組合
	京都リップル	全国障害学生支援センター
	NPO 全国視覚障害者情報提供施設協会	豊中市
	凸版印刷株式会社	横浜市交通局
	はあとねっと輪っふる	
	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	
	ユニバーサルデザインリフォーム プラザ静岡	
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	大洗サーフ・ライフセービングクラブ	池野通建株式会社
	大阪市交通局	五木村立五木中学校・ 熊本県立人吉高等学校五木分校
	大日本印刷株式会社	株式会社袖ヶ浦自動車教習所
	トーフ株式会社	NPO 伊勢志摩バリアフリー ツアーセンター
	NPO 子育て支援のNPOまめっこ	NPO 市民生活支援センター ふくしの家
		NPO はままつ子育てネットワーク ぴっぴ
		NPO プロジェクトゆうあい
		ピュア・フィールド風曜日
		北極しろくま堂有限会社

	第8回受賞 平成21年度 (2009年度)	第9回受賞 平成22年度 (2010年度)
内閣総理大臣表彰	株式会社東京信友	NPO Color Universal Design Organization
		日本理化学工業株式会社
内閣府 特命担当大臣表彰 (優良賞)	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	株式会社サン工藝
	カシオペア連邦はーとふる発見隊	株式会社特殊衣料
	株式会社タカラトミー	株式会社日立製作所 ユニバーサルデザイン 出前授業プロジェクトチーム
	財団法人安全交通試験研究センター	東京電力株式会社
	財団法人明治安田こころの健康財団	NPO ウィズアス
		有限会社アイ・シー・アイ デザイン研究所
内閣府 特命担当大臣表彰 (奨励賞)	尼崎交通局	あい・あーる・けあ株式会社
	NPO 子育てネットすくすく	刈谷市総合文化センター アイリス
	NPO 多文化共生センターきょうと	
	NPO ユニバーサルデザイン・結	

	第10回受賞 平成23年度 (2011年度)	第11回受賞 平成24年度 (2012年度)
内閣総理 大臣表彰	ケージーエス株式会社	シナノケンシ株式会社
		社会福祉法人 全国手話研修センター
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	オムロン ソーシャル ソリューションズ株式会社	NPO UDくまもと
	株式会社富士レークホテル	埼玉県警察本部交通部交通規制課
	株式会社 湯郷プラザホテル 季譜の里	社会福祉法人 太陽の家 サンストア
	株式会社らむれす・三角山放送局	日進市立図書館
	NPO まちづくり推進機構岡山	南医療生活協同組合
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	国際ユニバーサルデザイン協議会	早稲田大学ボランティアサークル 積み木の会

	第12回受賞 平成25年度 (2013年度)	第13回受賞 平成26年度 (2014年度)
内閣総理大臣表彰	日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet - Japan)	和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会・和歌山県立博物館
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	株式会社アメディア	藤野 稔寛
	NPO ケーネット知楽市	株式会社電制
		日本ブラインドサッカー協会
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	いしかわ総合スポーツセンター	大町立大町南小学校
	有限責任事業組合 A S I 栃木	てまるプロジェクト
	有限会社川藤	
	京都府立京都八幡高等学校・ 京都府立八幡支援学校	
	シティホールプラザアオーレ長岡	

	第14回受賞 平成27年度 (2015年度)	第15回受賞 平成28年度 (2016年度)	第15回までの 受賞件数
内閣総理大臣表彰	株式会社オーエックス エンジニアリング	株式会社 ジェイ・ティ・アール	内閣総理大臣表彰 23件
		株式会社静岡新聞社・ 静岡放送株式会社 メディア・ユニバーサル デザインプロジェクト チーム	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂	有限会社さいとう工房	内閣官房長官表彰 (1回～3回) 28件 内閣府特命担当大臣表彰 (4回・5回) 14件 内閣府特命担当大臣表彰 優良賞 (6回～15回) 45件
	川崎鉄工所株式会社	なにわー水	
	株式会社主人公		
	地域共生型 福祉施設整備協議会		
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)		ヤマハ株式会社 新規事業開発部 SoundU Dグループ	内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞 (6回～15回) 31件
		座間キャラバン隊	
			総計 141件

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領

平成13年11月6日
バリアフリーに関する関係閣僚会議決定
平成24年4月20日
一部改正

1 目的

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的とする。

2 表彰の対象

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、極めて顕著な、又は特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体

3 表彰者

極めて顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣総理大臣、特に顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣官房長官（ただし、高齢社会対策又は障害者施策を担当する内閣府特命担当大臣が置かれている場合には当該大臣。以下「担当大臣」という。）

4 表彰の方法

表彰状及び記念品

5 表彰の時期

表彰は、年一回行う。

6 表彰の手続

都道府県等から推薦された者のうちから、別に定める選考委員会の意見を聴いて、内閣総理大臣又は担当大臣が被表彰者を決定する。

7 表彰の事務

表彰に関する事務は、関係各省庁の協力を得て、内閣府において行う。

8 その他

- (1) この要領に定めるもののほか、表彰の実施に関し必要な事項は、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）が定める。
- (2) この表彰は、平成14年から15年間に限り実施することとする。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰
選考委員会 委員名簿

委員長

高橋 儀平 東洋大学ライフデザイン学部
人間環境デザイン学科教授

委員

勝尾 岳彦 株式会社コンシリウム代表取締役
元日経 B P 社日経デザイン編集委員

金子 健 明治学院大学名誉教授

篠 佳子 国立障害者リハビリテーションセンター講師

関根 千佳 同志社大学政策学部大学院
総合政策科学研究科教授

田中 徹二 社会福祉法人日本点字図書館理事長

久松 三二 一般財団法人全日本ろうあ連盟常任理事

藤本 浩志 早稲田大学人間科学学術院教授

村田 幸子 福祉ジャーナリスト

(敬称略、50音順)



共生社会政策

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)
(参事官(総合調整第2担当))

〒100 - 8914

東京都千代田区永田町1 - 6 - 1

中央合同庁舎第8号館 8階

電話 : 03 - 6257 - 1445

FAX : 03 - 3581 - 0699

<http://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/bf-index.html>